無停電電源装置
ICT-530J/ICT-530UJ
取扱説明書

このたびは POWERCOM　UPS　**ICT-530J/ICT-530UJ を**
お買い上げいただき誠にありがとうございます

⚠注意

1. **この説明書は本装置を安全にご使用いただくため重要な事柄が書かれていますので、本装置を取り扱う前に必ずこの取扱説明書及び注意書きをお読み下さい。**
2. **この取扱説明書をお読みいただいた後は大切に保管し、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。**

目次

重要なお知らせ ・・・

◆ ご注意

本機を安全に使用していただくために、重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ず本文をお読みください。

⚠ **誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。**

設置・接続時の安全上のご注意

- **本製品は日本国内仕様(単相 100V50/60Hz）です。海外でご使用の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。商用電源（ＡＣ１００Ｖ）以外の電源には使わないでください。故障・火災･感電の原因になります。**
- **本製品は一般事務所用や家庭用として作られていますので、医療用や高度な制御システムなどの用途には使用しないでください。**
- **ご使用時にはアースを必ず取り付けてください。取り付けない場合は故障、漏電の際の感電や火災、ノイズによる誤作動の原因になります。**
- **「ＡＣ１００Ｖ」プラグに２Ｐ－３Ｐ変換アダプタをご使用の場合、アース接続（接地）は必ず「ＡＣ１００Ｖ」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続する前におこなってください。**
  またアース接続を外す場合は必ず「ＡＣ１００Ｖ」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜いておこなってください。
- **電源タップからタップへの延長使用をおやめください。**
- **廊下など、電源ケーブルが足で踏まれるような場所では使わないでください。**
- **電源ケーブルは伸ばしてお使い下さい。束ねたままでの使用や、釘などで固定しないでください。**
- **電源ケーブルの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れないで下さい。**
- **本製品は１５℃～２５℃の温度(伝導性の環境がない屋内のエリア)における使用のために意図されています。（低温、高温時には十分な性能を発揮しない場合があります）。以下のような場所で設置や保管をしないでください。**
  高温の所（熱源の近くや、直射日光の当たる場所、火の近く）やほこりの多い場所に設置しないでください。
  湿度が１０％よりも低い／湿度が８５％よりも高い／隙間のないキャッビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所／屋外など。
- **本装置を使用中に異音、異臭、発煙など異常が生じたら直ちに使用を中止して、販売店または弊社までご連絡ください。**
- **濡らしたり、水をかけないでください。**
- **湿度の高い場所で、電源プラグの両極刃の間にほこりが積もったままの状態にしておくと、それを通して微少電流が流れ始め、それの樹脂が次第に炭化していき最後に発火する恐れがありますのでご注意ください。**

使用上のご注意

- **差し込む機器の消費電力の合計が指定の電力を超えないようにしてください。つなぐ機器の消費電力を確認してから、接続してください。**
- **本機を電熱器、ドライヤー、ストーブ、掃除機や一時的に大電流が流れる機器などの電源に使わないでください。**

- 変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、すぐに本機の「スイッチ」を切り「ＡＣ１００Ｖ入力プラグ」を電源コンセント（商用電源）から抜くこと。このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店または弊社に点検．修理を依頼してください。
- 本機の電源プラグの刃が曲がった場合や本機へ抜き差しする機器の電源プラグの刃が曲がったものは使用しないで下さい。
- 電源ケーブルとプラグは濡れた手で触れないでください。ケーブルを引っ張らず、電源プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。ケーブルが損傷すると感電、故障や火災の原因になります。
- コンセントに金属を落としたり、差し込まないでください。感電の原因になります。
- 分解、修理、改造しないこと。感電したり、火災が起こる危険があります。また、内部に手を触れると感電の恐れがあります。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 内部から液体が漏れたら、液体に触らないこと。
- バッテリーは定期的（3 年以内）に交換すること。使用期限を過ぎたバッテリーは、火災の恐れがあります。
- 長い間使わないときは、電源プラグを抜いておいてください。
- 感電の危険がありますので電源が入った状態でカバーを開けないで下さい。修理・バッテリーの交換はサービスの要員に委託してください。
- バッテリーの交換はバッテリーの知識のある人が実行されるか、監督して、定期的に交換してください。
- バッテリーを取り出して火に投入しないでください。バッテリーは爆発、破裂の危険性があります。
- バッテリーを分解、切断しないでください。内部の電解質は皮膚と目に有害です。
- バッテリーを交換する時に、同じタイプの指定バッテリーに交換してください。

◆ データ保護について

- 本装置の故障、誤作動により発生するデータの破損等に備え、お客様の責任でデータ保護をしてください。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求にはいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
-

安全規格・その他

- 本機は下記の安全規格・その他をクリアーしています

  PSE（電源コード、電源プラグ、2P-３P アダプタ）

  UL , VCCI Class B Compliance,　RoHS 指令

⚠メンテンナンス上の注意

- 汚れた時や埃が付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で抜き取ってください。
- 本機の状態が常に見えるように、本機をタンスの奥など目に見えない場所へ置かないでください。
- ベンジン、シンナーなどは使わないでください。コンセント部やプラグ部に接点復活保護液を使わないでください。

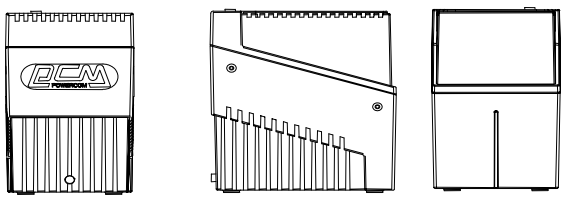
1. プレゼンテーション

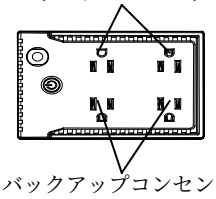
ご使用の前に同梱品を確認してください。

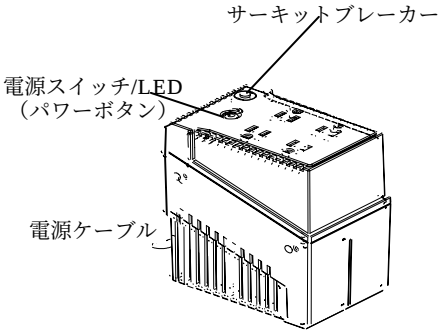
同梱品：UPS 本体ｘ１、変換プラグ(２P-３Pアダプタ)ｘ１、マニュアルｘ１、保証書ｘ１

【USB タイプのみ（USB ケーブルｘ１、自動シャットダウンソフトｘ１)】

正面図と側面図







1.1「電源スイッチ兼パワーインジケータ」について

- UPS の動作が正常な時に、インジケータについている LED ランプが点灯します。
- インジケータはバックアップモードの時には各 4 秒間隔で点滅します。
- 急速な点滅(1 秒)は、内側のバッテリーが交換時期を意味しています。

ご注意

急速な点滅が通常動作モードの中で起こった時には、内部のバッテリーを交換する必要があります。

1.2 バッテリーのバックアップコンセントとバイパス保護コンセント

- バックアップコンセント：電源トラブルが発生した際、接続機器に瞬時のバックアップパワーを提供しています。
- バイパスサージコンセント：常に機器にフルタイムのバイパスサージ保護を提供します。

1.3 パワーボタン（電源スイッチ）「ON/OFF/TEST」

- ブザーが停止する(約 2 秒)まで、パワーボタンを押すと UPS は電源が入ります。
- UPS を通電後に、セルフ・テストおよび正常な入力モードの確認を実施します。
- 通常モード時に、1 秒間、パワーボタンを押してください。1 秒の間パワーボタンを押すことによってバックアップ可能か/使用不可かが判断できます。１秒押しただけで電源が切れる場合は動作不良です。原因を確認してください。
- UPS を消すために、ブザーが停止する(約 2 秒)まで、パワーボタンを押してください。

1.4 サーキットブレーカー

- オーバーロードと障害保護として作用しています。

- これは高度な UPS 急増保護回路の重大なコンポーネントです。

2. 設置

2.1 バッテリーを充電してください。

- UPS を使う前に少なくとも８時間以上、バッテリーを充電してください。充電しないでご使用になりますと故障の原因になる場合があります
- バッテリーは、工場から出荷される前に完全に充電されていますが、UPS が出荷・流通期間の間にバッテリーのエネルギー損失が起こりますのでご使用前に充電してください。
- バッテリーを充電するために、UPS を商用電源（AC コンセント）差し込んで、機器を接続しないでスイッチを入れてください。

2.2 接続機器を接続してください。

- UPS のスイッチを入れた後で機器のスイッチを入れてください。バッテリーバックアップコンセントには主要な機器（例えばコンピュータ、モニタ、および重大なデータ記憶装置など)を接続してください。
- UPS のバッテリーバックアップコンセントの**最大接続容量は２６５W** です。オーバーしないようご注意ください。
- フルタイムのバイパス保護コンセントに周辺装置(例えばプリンタ、スキャナ、ファックス、または　オーディオ機器等)を接続してください。
- UPS には高消費電力のレーザープリンタを接続しないでください。電源 OFF の原因になります。
- UPS のバッテリーバックアップコンセントに消費電力の大きい(例えば冷蔵庫、エアコン、掃除機、複写機など)機器を接続しないでください。

2.3 UPS セルフ・テスト

- UPS は時々電源スイッチを 1 秒間押してセルフ・テストを実施してください。
- 完全なオーバーロードによって、警告ブザーが鳴っている間は、この機能は使用不可になります。

2.4 バッテリーオートチャージ

- UPS が商用電源（AC コンセント）に接続している間に、内部のバッテリーは、自動的に回路にチャージして充電されます。

2.5 オート再スタート機能

- バッテリー電圧が低すぎる間は、UPS が停止します。なお UPS のバッテリー電圧が回復すると自動再スタートします 。

2.6 オーバーロード（過負荷）保護

- 負荷が 10sec の間 110%の定格基準値を越えている時、または 3sec.の間 120%の定格基準値を越えているならば UPS が自動的にシャットダウンされます。

2.7 自動シャットダウンまでの最長時間

- 入力電力が停電時は UPS に負荷が接続されていなくても、UPS は最長３０分後に自動的にシャットダウンします。

3. 操作

- 3.1 **簡単なテスト**（シミュレーションテストを実施してください。）
- ユーザーが初めて UPS を使う時または負荷装置を追加する時にシミュレーションテストを行うことをお勧めします。

- 第一に、UPS のスイッチを入れて、パワーインジケータが点灯するのを待ち、そして、単に、電源トラブルの状態をシミュレーションするために、UPS のプラグを商用電源から抜いて正常にバックアップ動作するか確かめてください。

3.2 機器の電源条件をチェックしてください。

3.2.1. 機器の総消費電力が定格能力（１０００ｗ）を越えていないことを確かめてください。

3.2.2. バッテリーバックアップコンセントに差し込んだ機器が定格能力（２６５ｗ）を超えていないことを確かめてください。さもなければ、オーバーロードが起こり、サーキットブレーカーが作動するか、UPS がシャットダウンされます。

3.2.3. 機器の電源条件が W または VA ならば、下で計算をすることによって、変換してください。

ワット（W）X 2=VA　（PCMUPS の場合）

3.3 UPS のバックアップ時の動作

- 停電が起こる時に、バッテリーバックアップコンセントはそのバッテリーからパワーを機器に供給します。そのとき、ブザーは 4 秒ごとに 1 回ビーッという音（１秒）を発します。
- 機器が定格規定値内で動作していることを確認していてください。

4．ＵＰＳの制御ソフトについて　(ICT-530UJ)

4.1 ＵＰＳMON

- USB ケーブルを接続してソフトウェアをインストールします。
- 本装置側面パネルにある USB ポートに USB ケーブルを接続し、バンドルされている UPS 電源管理ソフトウェアをインストールすることで、高度な電源管理が可能になります。UPSMON は電圧、頻度、バッテリーレベルなどのモニタについてのすべての診断の状態を表示します。
- 専用ソフト (UPSMON)をご使用になるには、本機の通信ポートとパソコンの USB ポートを同梱の専用ケーブルを用いて接続してください(UPSMON は、パソコンの USB ポート 1 個を占有します。
- UPSMON では、停電時の自動シャットダウンやスゲジュール運転などを行うことができます。

対応 OS : Windows95/ 98/ ME/ XP/NT 4.0/ 2000

ケーブル ： 同梱の専用 USB ケーブル

詳細につきましては、ソフトのユーザーズマニュアルをご参照ください。(UPSMON CD)

Windows, Windows NT は米国マイクロソフト社の登録商標です。

5．バッテリーメンテナンス

5.1 バッテリーメンテナンス

- 予防保守のために、UPS のまわりのエリアをクリーンにしておいてください。
- 15℃から 25℃の最適周囲温度に UPS を保持してください。低温、高温の場合は充分な性能が発揮されません。

5.2 最適なバッテリー状態

- 最適なバッテリー状態を維持するために、UPS を商用電源に差し込まれて、常時にスイッチが入った状態にしていてください。

5.3 交換、保持

- 交換するバッテリーは必ず指定品をご使用ください。指定品以外で故障・不具合を発生しても保障の対象にはなりませんので、ご注意ください。

- 交換する場合は完全に充電されたバッテリーを UPS に供給してください。
- バッテリーの寿命を保証するために長期間保存する場合は 3 ヶ月ごとにバッテリーの再充電をしてください。

バックアップの目安（ＩＣＴ＝５３０）

バッテリーは新品の状態の目安です。保障値ではありません。

負荷　W数	バックアップ時間（分）
３０W	３０.０′
５０W	２４.５′
７０W	１３.２′
１００W	７.４’
１２０W	６.０’
１６０W	２.１’
２５０W	１.０’

5.4 バッテリーの廃棄・回収について

- バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において「特別管理産業廃棄物」に指定されていますのでむやみに廃棄することはできません。必ずリサイクルしてください。使用済みバッテリーの回収方法は弊社ホームページをご参照ください。http://www.pcmups.jp

付録トラブルシューティング

ブザー、LED、およびステータスのためのチェックテーブル

警告音	Power-on／ LED（GREEN）	本装置の状態
OFF	ON	通常運転中
OFF	ON：0.5’S OFF：0.5’S	BATTERY 障害
ON：継続音	AC MODE ON BACKUP MODE ON：1’S OFF：4’S	OVER LOAD （容量オーバー）
ON：4’S OFF：1’S	AC MODE ON BACKUP MODE ON：1’S OFF：4’S	FULL LOAD（負荷１００%）
ON：1’S OFF：4’S	ON：1’S OFF：4’S	停電時のバックアップモード
ON：1’S OFF：1’S	ON：1’S OFF：1’S	バッテリーの能力低下
ON：0.5’S OFF：0.5’S	ON	バッテリー充電不良

１．ＵＰＳの電源が入らない。バイパスサージコンセントは通電している

主な原因	解決方法
バッテリーの消耗（瞬間に LED ランプがつく）	バッテリーを交換してください 。
電気容量の低下（テーブルタップから配線）	壁・床のコンセントに直接差し込んでください。
メカニカルな問題	販売店に連絡してください。

２．ＵＰＳの電源が入らない。バイパスサージコンセントも通電していない。

主な原因	解決方法
サーキットブレーカーが過負荷（オーバーロード）により飛び出した。	バイパスサージコンセントから少なくとも 1 つ以上の機器のプラグを抜いてください。UPS のスイッチを切り、5 秒待ち、サーキットブレーカーボタンをリセットしてから UPS のスイッチを入れてください。
メカニカルな問題	販売店に連絡してください。

３．停電時にバックアップ機能が動作しない。動作してもすぐ切れてしまう。

主な原因	解決方法
頻繁な停電のため充分に充電されていない	UPS を商用電源に差し込み、スイッチを入れて、バッテリーを再充電してください
本 UPS によって供給される容量を接続機器の容量がオーバーしています。	UPS アウトレットから少なくとも 1 つの機器のプラグを抜いてください
バッテリーが消耗または劣化したバッテリー。	バッテリーを交換してください

４．こげたにおいがする。煙が出た。

主な原因	解決方法
瞬時な大量の負荷（雷・大型機器による過負荷等）によるサージ用バリスターの損傷	電源を切って販売店または弊社までご連絡ください。

◆ 保証規定　　保証期間--お買い上げ日から本体１年間

1．保証書（別に添付してあります）

保証書は、必ず（お買い上げ日、 販売店名印）などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取り下さい。販売店の発行する保証シール、売上伝票、領収書等、購入日を証明できるものとあわせて保管ください。

2．修理を依頼される時

11、13 ページの表に従ってご確認のあと、正常に動作しないときは必ずパワースイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または弊社修理窓口へご連絡ください。

有償保守サービス提供期間

弊社が提供しております有償保守サービスの提供期間は発売後、5 年間（無償保証期間 1 年を含む)です。5 年を経過した装置には、いずれの保守サービス提供もできない場合がありますのでご了承ください。

- **保証期間内でも、次の場合には有償となります**

1. **製品シリアルナンバーの貼った保証書の提示が無い場合。**
2. **購入日が証明できる書類がない場合（販売店発行のレシート・領収書・納品書等）**
3. **取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、又は使用上の誤りによる故障及び損傷。**
4. **不適当な修理や改造による故障及び損傷。**
5. **お買い上げ後の輸送や使用中に落とされた場合などによる故障及び損傷。**
6. **外観上の変化（筐体のキズ）の場合。**
7. **火災、公害、異常電圧及び地震、雷、風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障及び損傷。**
8. **消耗部品（電池など）が消耗し取換えを要する場合。**
9. **その他弊社の責任とみなされない故障。**

本保証書は日本国内のみ有効です。　本製品が保証期間中に故障、欠陥が生じた場合は、弊社の判断により製品を修理または無償交換いたします。

仕様(Specification)

製品名		ＩＣＴ－５３０
入力仕様	定格入力電圧	ＡＣ１００Ｖ
	定格入力周波数	５０／６０Ｈｚ（自動選定）
	相数	単相２線式（アース付き）
	入力プラグの形状	ＮＥＭＡ ５－１５Ｐ
	入力ケーブル長	１９７ｃｍ
出力仕様	出力コンセント数	４個 （バックアップコンセント２個） （サージ保護のみコンセント２個)
	最大出力容量	１０Ａ
	バッテリーバックアップ	５３０ＶＡ／２６５Ｗ
	コンセント最大出力容量	２６５Ｗ（ＵＰＳ）
	出力停止までの最大時間	３０分（負荷０～３０Ｗ）
	バッテリー変換所要時間	＜１０milliseconds
	定格出力容量	ＡＣ１００Ｖ±２０％（バックアップ運転時）
	定格出力周波数	５０／６０Ｈｚ±０.３Ｈｚ（バックアップ運転時）
	出力波形	矩形波
	サージ．ノイズフィルタ	ＥＭＩ／ＲＦＩフィルタ
バッテリー	バッテリータイプ	小型シール鉛蓄電池
	バッテリー容量	ＤＣ６Ｖ４.５Ａｈｘ２
	９０％までの充電時間(負荷５０％時)	＜８時間
	バッテリー通常寿命 （周囲温度、放電回数により変化します） ＊交換時期目安は保証値ではありません。	使用温度　交換時期目安 ５～２０℃　２．０年 ３０℃　１．７年 ３５℃　１．２年
	交換用バッテリー型番	ＢＰ４.５－６ｘ２またはＳＷ６４５ｘ２
環境	使用環境	最大高度１，５００メートル 湿度０~９５％、０~４０℃ ＊結露のないこと
	保管環境	最大高度３，０００メートル 湿度０~９５％、－１５~４０℃ ＊結露のないこと
寸法．重量	外形寸法　（WxDxH）㎜	９５ ｘ １３８ ｘ １５８
	正味重量	約２．４３ｋｇ
	梱包寸法　（WxDxH）㎜	１１５ ｘ １７２ ｘ ２６６
	梱包重量	約２.６ｋｇ
付属品		変換プラグ(２Ｐ-３Ｐアダプタ)、マニュアル、保証書
	オプション（USB タイプ）	ＵＳＢケーブル、ＵＰＳＭＯＮソフトウェア
安全規格		ＰＳＥ、ＵＬ
無償保証期間		1年

- **本説明書の内容は一部または全部を無断転載することは禁止しています。**
- **本説明書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。**

株式会社パワーコムジャパン